

平成29年度学校評価報告書

平成30年2月28日

北海道教育委員会教育長 様

北海道野幌高等学校長 林 正 憲

次のとおり平成29年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 授業規律を確立し、生徒一人一人を成長させる授業の実践
- (2) 教育的愛情をもち、生徒の人格を尊重し、粘り強く組織で指導する体制の確立
- (3) 生徒の力を高め、第一志望を実現させるために学校全体で取り組む進路指導の充実
- (4) 教職員がビジョンを共有し、課題を適切に解決する協働体制の確立

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業規律の指導を強化したが、教室の環境整備や私語等、改善は不十分である。 ・ 授業公開、生徒による授業アンケート、研修等授業改善に取り組んだが、学ぶ意欲を高め学びの姿勢を身につけさせる指導の一層の工夫が必要である。 ・ 個に応じた指導については、十分な時間をとり、多様性に対応した教員の資質・能力の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の将来のために「学びの基本」を育むよう指導していただきたい。 ・ フィールド制の成果を生かしながら、教育課程を編成し、学習意欲を高めてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の到達目標や学習を通して育成すべき生徒の資質・能力を明確にし、ベクトルの向きを揃えた指導を行う。 ・ 「学び直し」や新学習指導要領を視野に入れた教育課程の編成に向けて具体的な検討を進める。 ・ 平成31年度の「学びの基礎診断」の本格実施に向けた準備を進める。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や集会時の態度等改善された点もあるが、自己管理能力や規範意識、社会性の育成については、より一層の指導が必要である。 ・ 「命の授業」、コミュニケーショントレーニング等互いの人間性を尊重する指導は一定の成果を上げているが、思いやりの心と協調性を育む生徒指導は一層の工夫が必要である。 ・ 生徒会活動は意欲的に行われ、大きな行事に加え、新たな取組もあり活気ある学校づくりに貢献している。 ・ 部活動やボランティア活動は参加生徒は少ないが、一生懸命取り組み、人間的な成長に結びついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員と生徒の信頼関係を基盤とし、上から押さえつけるのではなく、甘やかして野放しにするのでもなく、内面からの成長を促してほしい。 ・ 挨拶や身だしなみ等改善されている。生徒の素直さを大切にし、自主性を引き出す教育を進めてほしい。 ・ 他者との違いを認め合い、多様性を尊重する人間関係を築くよう指導してほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導方針や内容を明確にし、生徒や保護者に丁寧に説明しながら、組織的な指導を強化する。特に、遅刻や服装・頭髪等の大きな課題については、重点的に進める。 ・ いじめを未然に防止し、良好な人間関係づくりができる力の育成を図る。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベントについては一定の成果を上げたが、生徒の意識を高め主体的に進路活動に取り組みせるよう、面談指導や情報提供が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供や面談等、粘り強く働きかけ、キャリア教育を軸とした教育を願う。 ・ 仕事や雇用の実態を伝えてほしい。 ・ 市内企業とのマッチングを願う。

改善方策	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の全体計画を改善し、3年間を見通した計画的な進路指導を実施する。 各種調査や面談を通じて生徒個々の進路希望や適性を把握するとともに、学校、保護者、生徒の三者が情報を共有しながら進路を実現するよう指導を進める。 進路だより等を活用し、情報提供、啓発活動を推進する。 	
健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校医やSCと連携し、保健講話を行うなど心身の健康に係る指導は一定の成果を上げた。 自己の健康管理能力、環境美化意識及び危機管理能力の育成については、不十分であり、特に、環境美化については、計画を見直し、日常的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 困っている生徒が相談できる関係づくりを願う。 社会や家庭の問題もあることから、専門機関との連携を重視してほしい。 整理整頓、美化は大切。指導を進めてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 年2回面談週間を設定する等、生徒理解を深め、生徒に関する情報を共有し、生徒のよき変容を促すカウンセリングやコーチングの力を向上させる。 SCやSSW等外部専門家との連携を強める。 環境美化の全体計画を見直し、生徒会活動と連携して活動を強化する。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化と連携及び組織的かつ効率的な業務推進については、一定の成果を上げたが、PDCAサイクルを回し、課題解決に向け、より一層の学校改善を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「働き方改革」の取組を通し、職員の心身の健康を確保しながら、教育の質を高めてほしい。 生徒のために、よい雰囲気为学校組織をつくってほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 学校のビジョンや教育方針等の一層の共有化を図り、組織力を高める。 全教職員による報告連絡相談等の徹底を通じて、迅速かつ適切な情報の共有に努める。 服務規律の遵守について、日常的な情報提供と教職員の相互牽制により不祥事の未然防止を図る。 学校経営や学校改善に対する職員の意識を高め、仕事の質の向上や効率化、合理化のため主体的に行動する。 	
保護者、地域住民との連携	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信により一定の成果を上げたが、本校の教育方針を広く理解していただくためには、より一層の工夫が必要である。 保護者への連絡を密にし一定の理解を得られたが、より一層の連携を図る必要がある。 警察やボランティア団体、老人ホーム、幼稚園などと連携し、また、学校周辺のゴミ拾いを行い、地域との関わりの中で教育を進めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞報道やHPに効果はある。よい活動を積極的に発信し、生徒にも自信を持たせてほしい。 授業公開週間は是非実施し、負担にならない範囲で、来校者に丁寧に対応してほしい。 仕事等で多忙な保護者が相談できるような関係づくりを願う。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 本校に対するイメージを変え「よりよい学校教育を通じよりよい社会をつくる」ことにつながるような、PTAや地域との取組を進める。 授業公開週間を実施し、保護者や中学校、地域の方に日常の姿を見ていただく。 各種説明会、通信、HPなど一層活用し、保護者にご理解とご協力をいただく。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事の対応には様々な困難があったが、関係者の協力を得て、大きな支障なく進めることができた。 本校70周年に向けた会議を実施し、同窓会との共通理解を深めることができた。また制服改定に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 制服の改定は賛成。金額や素材に気をつけ、生徒の意見を大切にしてほしい。 野幌高校は地域に必要な学校。様々な困難があるだろうが、職員の努力に感謝する。これからも応援する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事の二年目について、生徒の安全を守り、教育活動に支障が出ないように、関係者と連携しながら十分配慮して進める。 平成31年度の70周年記念行事に向け、計画的に準備を進める。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の結果及び学校関係者評価書を学校評議員へ配付し、学校評議員会で説明する。 PTA総会に学校関係者評価の結果等を公表する。 本校のWebページに学校関係者評価書を公表を掲載する。 	

3 添付資料

- 平成29年度北海道野幌高等学校学校評価 自己評価アンケート
- 平成29年度北海道野幌高等学校学校評価 保護者評価アンケート